

# 市政に関する一般質問

9  
用定列会

一般質問は、市長などに市政全般について  
疑問な点や方針等をただすものです。

9月定例会では、9月25日と28日に一般質問が行われ、通告順に5名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。

合併事業

**問** 合併特例債事業は市の財政状況に合わせて実行すべきであるが、まず最初に

**答** 合併特例債を活用する

新市三原事業のほか、電算システム統合整備事業、野手兵総合グラウンド整備事業、完成は市民のためになると思ふが、どう考えるか。

**答** 現在市では、少子高齢化、人口減少、財政の健全化、仮称野菜図書館整備事業を含む総合支所改修事業

化など多くの課題を抱えて  
いますが、新市建設計画に  
が、平成21年度までに完  
了した事業です。

現在実施中の事業について、防災行政無線整備事業

てひとがはぐくむ活力ある  
まち「こつながるもの」確  
立(平成26年度実施計画)  
四郎野→内裏塚間の南北道  
各整備事業は平成17年春

信しています。  
このことから、合併特例  
の完成を目指しています。  
また、仮称合併記念公園

債事業のうちの未着手事業についても、事業実施のた  
整備事業は、市有地の小作権問題が解決し、今年度に

測量と説話業務を実施し、平成25年度に整備完了する計画である。

問 合併特例債事業について、平成21年度までに完了または完了予定の事業は、また、実施中の事業や未未着手事業の給食センター統合事業と野菜中学校校舎改築事業については、平成22年度から平成24年度

は、財政事情等により毎年度事業を精査し見直しすることとしており、蘿里～川辺間の南北道路整備事業に



▲「のさか図書館」オープニングセレモニー(11月24日)

▲「のさか図書館」オープニングセレモニー(11月24日)

については、効果等を勘案して事業凍結をしています。

問 国の政権が代わったことで、新学校給食センターと統合事業も検討するべきで

は。給食センターの建設については、まず現在の施設の老朽化が進んでおり、改築の必要が迫っています。

また、給食に求められているものが、食の安心・安全、栄養バランス、望ましい食生活の習慣化、衛生管理や地産地消など、非常に多様化しています。これらの問題について建

設検討委員会で協議を

進めています。市民代表の方々から意見を伺つているところです。

委員会では、自飯のための炊飯施設の整備、衛生管理、手づくり給食、地産地消や財政負担について意見をいただいており、現在

市のホームページに委員会からの報告書を掲載しています。

基本的には、新しい学校給食センターを建設するということが最も現実的であると考えています。

**問** 建設業の活力再生と地域活性化が目的である、建設業と地域の元気回復事業について、本市の状況は。

**答** 公共事業の落ち込みに伴い、建設業から農業へ参入する機運が見受けられます。これは、農業従事者の高齢化による遊休農地の増大や担い手不足を背景とし、また、建設業事業者に兼業農家が比較的多く、その経験や実績が農業に目を向けている要因かと考えています。

この事業については、社団法人千葉県建設業協会を通じ、県内各支部に周知されており、本市においても支部長からいろいろな業者さんに周知されていますが、現在のところ事業要望のあつた業者はいないとのことであります。

しかし、今後事業要望があつた場合は、さまざまなお角度から支援していくたいと考えています。

また、企業の農業参入については、農林水産省が所轄している企業等参入支援推進事業や、県事業の企業等農業参入促進事業がありますので、市としてもこれらの事業の趣旨や内容を広く周知し、参入を検討する業者に対し支援していきたいと考えています。

**問** 旭市で建設業と地域の元気回復事業が行われていると聞く。その状況は。

**答** 旭市の状況については、

テーマを福祉と農業の融合として、「ちば元気モリリ会」として協議会が行われています。この協議会は、千葉県建設業協議会、千葉県社会福利大会、旭の地元建設業者3で構成されており、これらの構成団体が中心となり事業を展開すると言っています。事業内容は、遊休社屋をデイサービス施設として利用するほか、遊休農地を活用してビジネスチャンスにつなげていくことをです。なお、現在説明会等を開催して、参加者を募集している状況とのことです。

会、商工会など関係機関と連携しながら、本市の産業活性化に結びつくように積極的に対応していくことを考えております。

まだまだ匝瑳市という名称が全国的に十分浸透していない中で、来市した方には、匝瑳市には「こんなにいいところがあった」と、「こんなにおいしいものがあった」との感想を持って気持ちよくお帰りいただけたよう、最大限のおもてなす

しをしたいきたいと考えています。

また、6月のリハーサル大会では、売店の出店関係などは市のホームページや広報に掲載したほか、商工会の協力により、商工会の全会員にチラシを配布したところで、本国体に向けても、より充実した内容になら努力していきたいと考えています。